



REAL LOGISTICS

Being Group

2022年12月期第2四半期 決算説明資料

株式会社ビーイングホールディングス
(東証 スタンダード市場 9145)

2022年8月12日

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新・改訂を行う義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

※端数の処理について、単位未満を切捨て、パーセントは小数点第一位未満を切捨てとしております。

2022年12月期第2四半期 連結業績実績

営業収益	107.7億円 前年同期比 +13.4%	営業利益	4.3億円 前年同期比 △14.5%
経常利益	4.3億円 前年同期比 △20.2%	親会社株主に 帰属する 四半期 純利益	2.9億円 前年同期比 △18.5%

I ... 会社概要

II ... Topic

III... 2022年12月期第2四半期連結業績実績

IV... 2022年12月期連結業績予想

V ... Appendix



REAL LOGISTICS
Being Group

I

会社概要

- ・ 4つの特長
- ・ 3つの成長戦略

社名	株式会社ビーイングホールディングス 【英文名】 BEING HOLDINGS CO.,LTD.
本社	金沢本社 石川県金沢市専光寺町レ3-18 TEL : 076-268-1110 / FAX : 076-268-6631 東京本社 東京都千代田区大手町1-1-1大手町パークビルディング7階 TEL : 03-6259-1830 / FAX : 03-6259-1831
代表者	代表取締役社長 喜多 甚一 (キタ シゲカズ)
設立	1986年9月17日
資本金	661,178千円
従業員数	連結923名 (1,102名) (2022年6月末現在) 従業員数は就業人員 (当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。) であり、臨時雇用者数 (パートタイマー、人材会社からの派遣社員、季節工を含む。) は、最近1年間の平均人員を () 外数で記載
事業内容	グループ会社の経営管理 ビーインググループ 物流事業 物流センター運営、コンサルティング業務 その他 旅客事業等

グループ企業

	名称	事業内容	資本金	議決権の所有割合
①	(株)アクティー	物流事業	80百万円	100.0%
②	(株)福井アクティー		30百万円	100.0%
③	(株)東京アクティー		80百万円	100.0%
④	(株)コラビス		80百万円	100.0%
⑤	(株)A 2 ロジ		5百万円	51.0%
⑥	(株)横浜 L S P		10百万円	100.0%
⑦	(株)オリエンタル	旅客業	10百万円	100.0%
⑧	(株)G a p p a	システム開発	5百万円	100.0%
⑨	(株)ベプロ	保険代理業	3百万円	100.0%
⑩	(株)田川自動車	自動車整備業	6百万円	100.0%
⑪	北陸物流効率化事業協同組合	燃料販売業	0百万円	35.71% (28.57%) ※1 ※2

※1 議決権の所有割合の（）内は、間接所有割合で内数

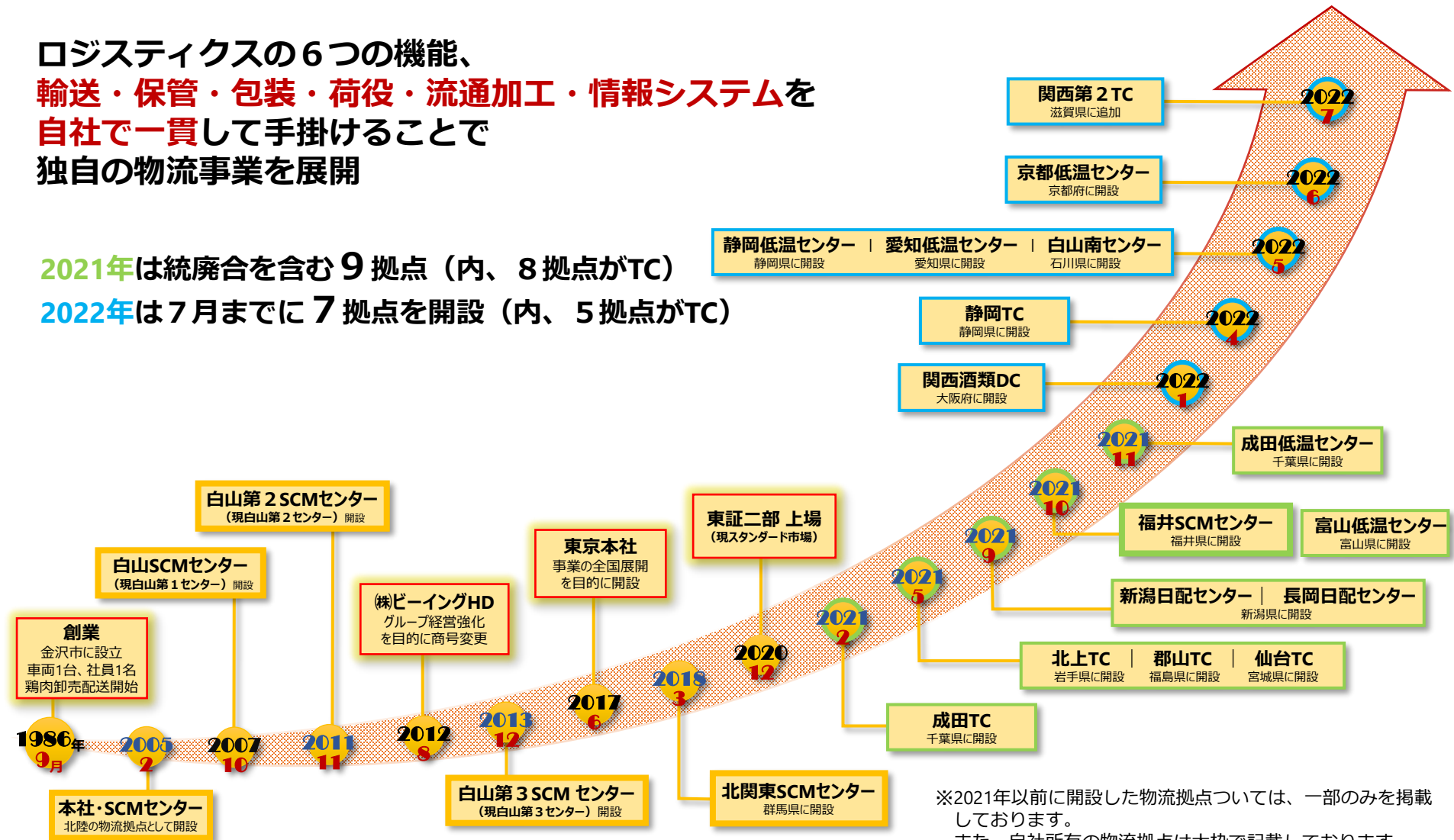
※2 議決権の所有割合は100分の50以下であるが、実質的に支配しているため子会社としたもの

成長の軌跡

ロジスティクスの6つの機能、
輸送・保管・包装・荷役・流通加工・情報システムを
自社で一貫して手掛けることで
独自の物流事業を展開

2021年は統廃合を含む9拠点（内、8拠点がTC）

2022年は7月までに7拠点を開設（内、5拠点がTC）



※2021年以前に開設した物流拠点については、一部のみを掲載しております。
 また、自社所有の物流拠点は太枠で記載しております。

運送事業
 卸の物流センター下請から卸・小売向け3PL事業へ
 北陸から東海・関西地方へ事業エリア拡大

関東地方へ、そして全国展開
 同業他社へ3PL事業をプロデュース【4PL】も展開

1 6機能すべてを自社で担うリアル・ロジスティクス・カンパニー

輸送、保管、包装、荷役、流通加工、更に**情報システムを自社開発**一元化する「**3PL事業**」が主軸。さらに3PL事業をプロデュースしサプライチェーン全体を管理する「**4PL事業**」を、グループ連携を図り同業他社へ展開

2 小売・卸売事業者向け3PL事業に注力

取り扱う商品は**生活物資に特化**。3温度帯(常温・冷蔵・冷凍)の食品、医薬品、化粧品、日用品の**小口物流に強み**を持ち、卸売企業及びコンビニエンスストア、スーパーマーケット、ドラッグストアの物流センター運営を受託

3 「運ばない物流[®]」「見える物流」でロジスティクスの合理化・全体最適化を実現

メーカー、卸売、小売間で実施する拠点間配送、在庫管理、検品などを拠点物流センターに集約し、自社開発の管理システム「**Jobs**」を駆使し収集した情報を顧客と共有し、構内・配送業務の徹底した合理化により全体最適化を実現



※詳細はAppendix (P.27~34) をご参照ください

成長
戦略

関東から
全国への展開
を見据えた
物流基盤の構築

1

既存顧客内での
当社
シェアアップ
に注力

成長
戦略

2

量の拡大と質の変革
長期成長イメージ

成長
戦略

3

成長戦略 1 全国への展開

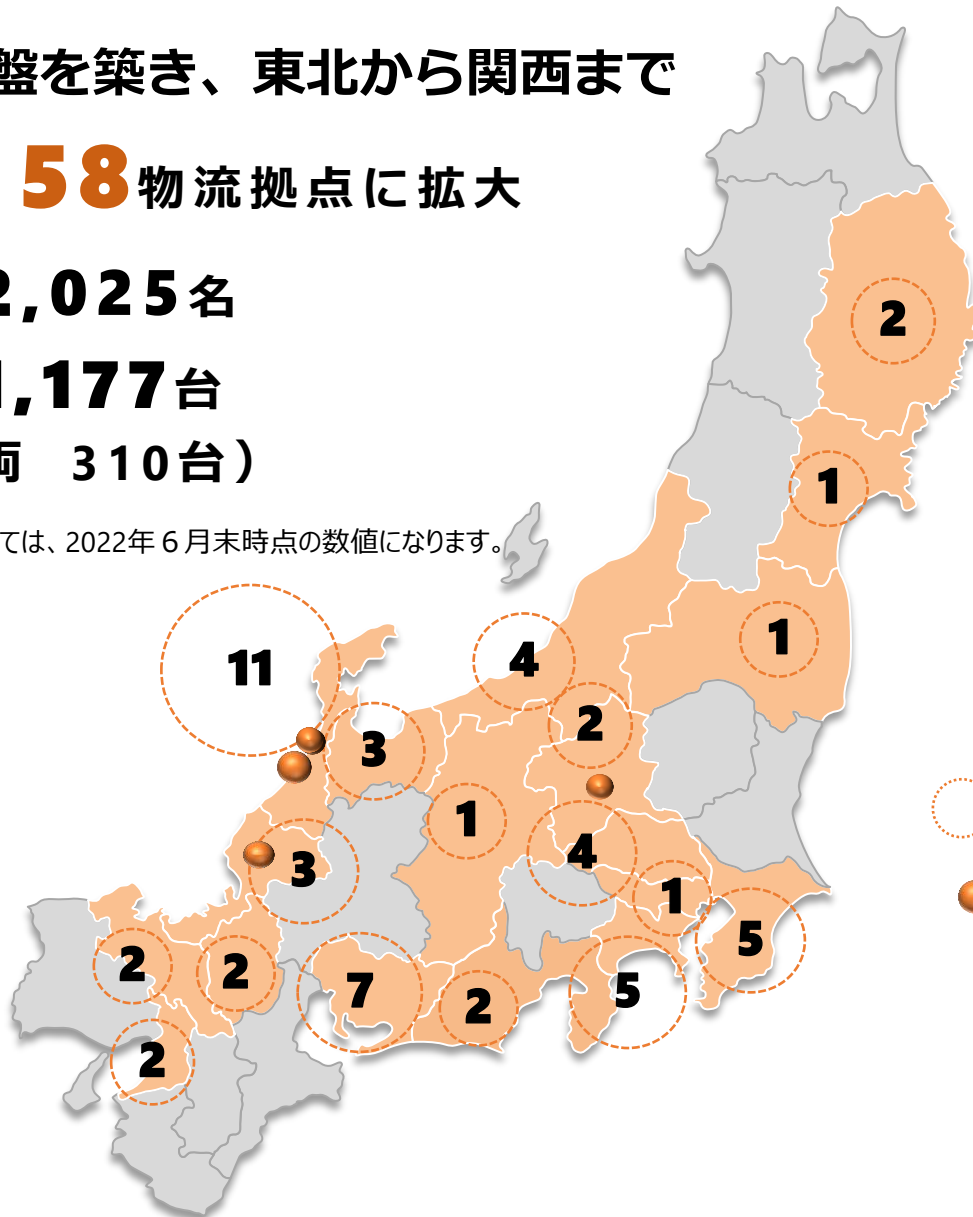
北陸に強い基盤を築き、東北から関西まで

■ **18**都府県 **58**物流拠点に拡大

■ 従業員数 **2,025**名

■ 輸送力 **1,177**台
(内、自社車両 **310**台)

※₁ 従業員数、輸送力については、2022年6月末時点の数値になります。



2022年開設の拠点

- 1.31 大阪府で1拠点開設
- 4.21 静岡県で1拠点開設
- 5.20 愛知県で1拠点開設
静岡県で1拠点開設
- 5.30 石川県で1拠点開設
- 6.20 京都府で1拠点開設
- 7.20 滋賀県で1拠点追加

2021年開設の拠点

- 2.22 千葉県で1拠点開設
- 5.20 東北3県で3拠点開設
(分割)
- 9.30 新潟県で2拠点開設
- 10.11 福井県で1拠点開設
(統合により2拠点閉鎖)
- 10.31 富山県で1拠点開設
- 11.30 千葉県で1拠点開設

○ …の中の数字は各都府県の拠点数を示す

● 自社所有 | 6センター

- 金沢SCMセンター (金沢市)
- 白山第1センター (白山市)
- 白山第2センター (白山市)
- 白山第3センター (白山市)
- 福井SCMセンター (永平寺町)
- 北関東SCMセンター (前橋市)

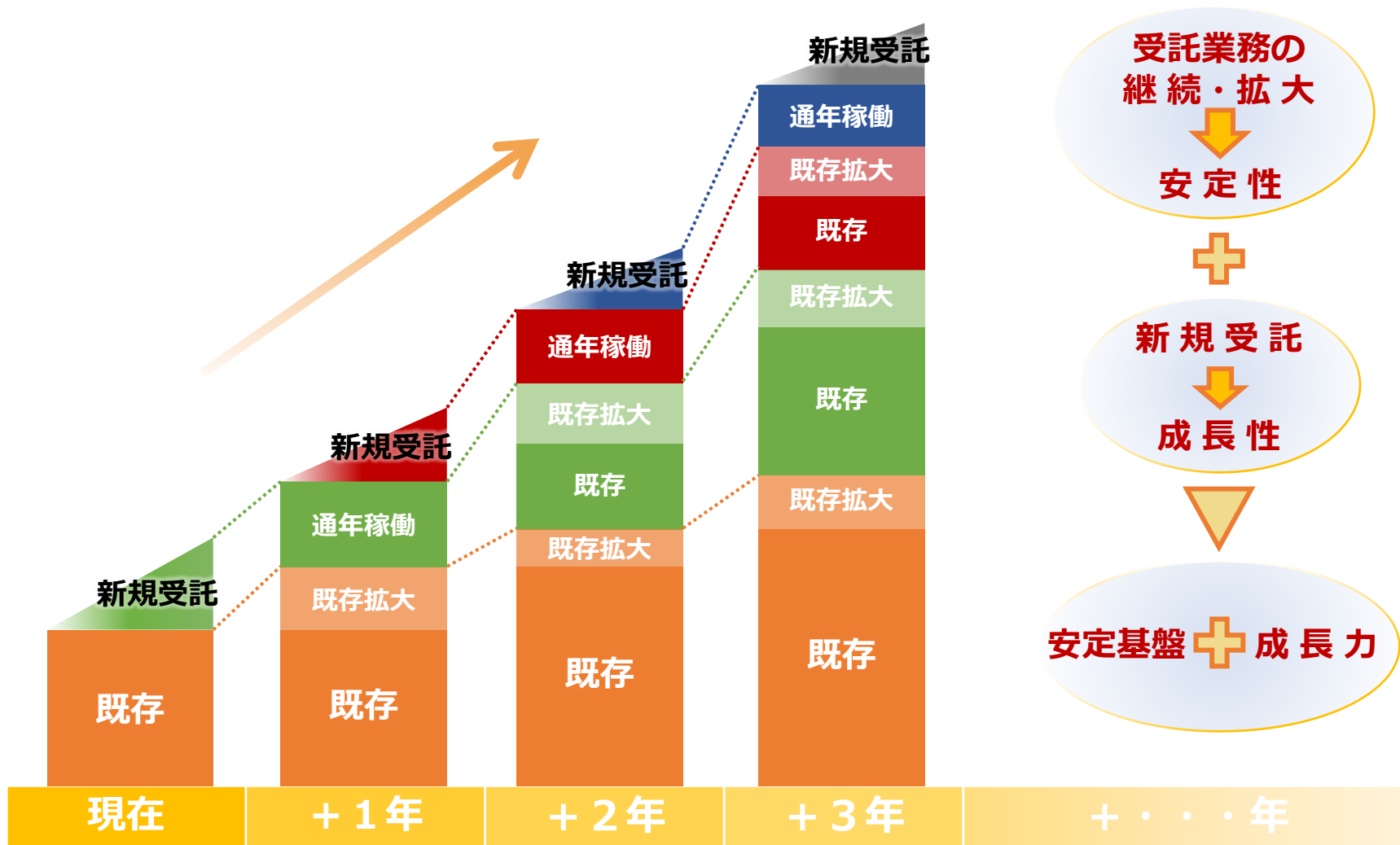
◆ 2022年7月末時点

※₂ 拠点数については、「所在地別での算出」から、2021年4月1日より「事業所別かつ所在地別での算出」に変更しております。

成長戦略2 シェアアップによる収益の増加モデル

高い契約継続率による長期間のお取引

安定した収益構造



ロジスティクスの創造的革新に向け

「量」の拡大と「質」の変革で挑む

「データネットワークセンター」
構築

- モノに関する様々なデータを収集・管理・分析し、サプライチェーンに携わる事業者同士を繋げ、クラウド上で管理

「小売りビジネスの物流プラットフォーム」
目指す

- 3PL事業をプロデュースしてサプライチェーン全体を管理する「4PL」事業及び、「DXプラットフォーム」を同業他社へ提供

サプライチェーンの
全体デザイン力拡充する

技術・システム
開発

- 拠点間物流を合理化

3PLビジネスの
スピーディーな拡大

顧客
拡大

エリア
拡大

M&A

「質」
の
変
革

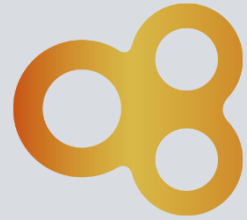
「量」
の
拡
大

研究開発

AIやIoTを使った省力化設備や高生産性・高品質の業務フロー
DtoC、オムニチャネルに対応する物流ビジネス

現在

将来



REAL LOGISTICS
Being Group

II

Topic

2022年5月20日～7月20日の2ヶ月間で 5拠点を開設・追加

■ 2022年5月20日、静岡県（磐田市）に新センター「静岡低温センター」、愛知県（小牧市）に新センター「愛知低温センター」を開設

- 東海エリアでの新規業務受託に伴い、既存拠点から一部業務を移管
日配専用の配送センターの運営を行う



■ 2022年5月30日、石川県（白山市）に新センター「白山南センター」を開設

- 顧客の拠点移転に伴い、一部業務を現在の拠点より移動
石川県における雑貨の物流センターの運営を行う



■ 2022年6月20日、京都府（城陽市）に新センター「京都低温センター」を開設

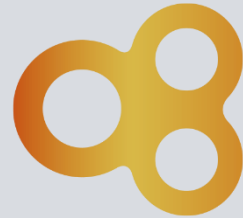
- 関西エリアでの新規業務受託に伴い開設
日配専用の配送センターの運営を行う



■ 2022年7月20日、滋賀県（栗東市）に新センター「関西第2TC」を追加

- 既存の関西TC（滋賀県、「関西第1TC」に名称変更）での業務拡大に伴い追加
食品・雑貨の輸送センター運営を行う





REAL LOGISTICS
Being Group

III

2022年12月期第2四半期

(2022年4月～6月)

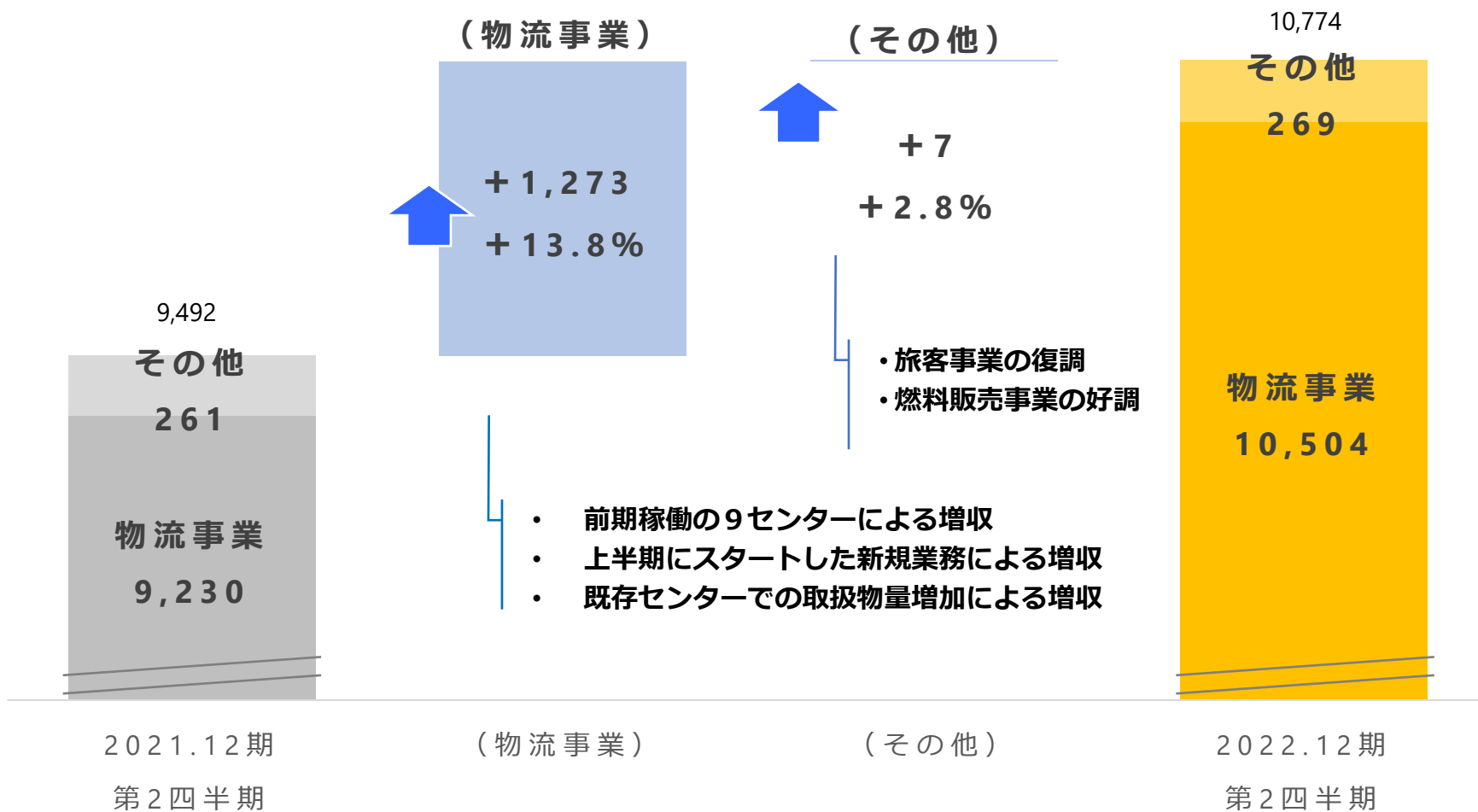
連結業績実績

2022年12月期第2四半期 損益状況（前年同期比）

[百万円]	2021年12月期 第2四半期 実績		2022年12月期 第2四半期 実績		前年同期比	
	金額	営業収益比	金額	営業収益比	増減額	増減率
営業収益	9,492		10,774		+1,281	+13.4%
営業原価	8,433	88.8%	9,761	90.6%	+1,328	+15.7%
営業総利益	1,059	11.1%	1,012	9.3%	△46	△4.4%
販管費	551	5.8%	578	5.3%	+26	+4.8%
営業利益	507	5.3%	433	4.0%	△73	△14.5%
営業外収益	53	0.5%	42	0.3%	△10	△20.6%
営業外費用	18	0.2%	43	0.4%	+24	+131.2%
経常利益	541	5.7%	432	4.0%	△109	△20.2%
特別利益	2	0.0%	7	0.0%	+4	+192.5%
特別損失	—	—	0	0.0%	+0	
法人税等	164	1.7%	133	1.2%	△30	△18.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	359	3.7%	292	2.7%	△66	△18.5%

2022年12月期第2四半期 損益状況 | 営業収益増減要因分析

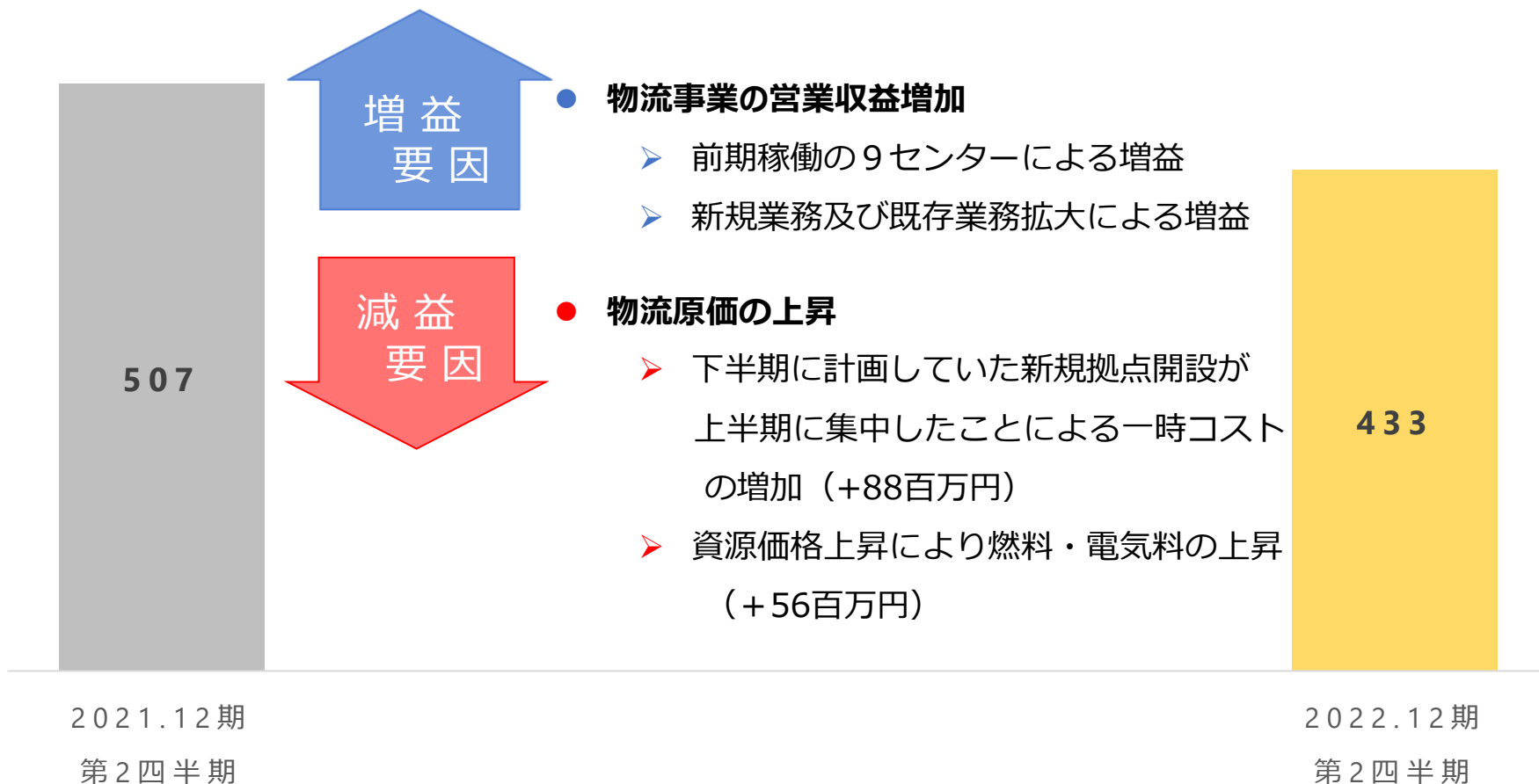
[百万円]	2021年12月期 第2四半期 実績 金額	2022年12月期 第2四半期 実績 金額	前年同期比	
			増減額	増減率
営業収益	9,492	10,774	+1,281	+13.4%



※「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）等を2022年12月期期首より適用しております。

2022年12月期第2四半期 損益状況 | 営業利益増減要因分析

[百万円]	2021年12月期 第2四半期 実績		2022年12月期 第2四半期 実績		前年同期比	
	金額	営業収益比	金額	営業収益比	増減額	増減率
営業利益	507	5.3%	433	4.0%	△73	△14.5%



営業利益率押下げ要因（物流原価の上昇）

■ 業務拡大による影響

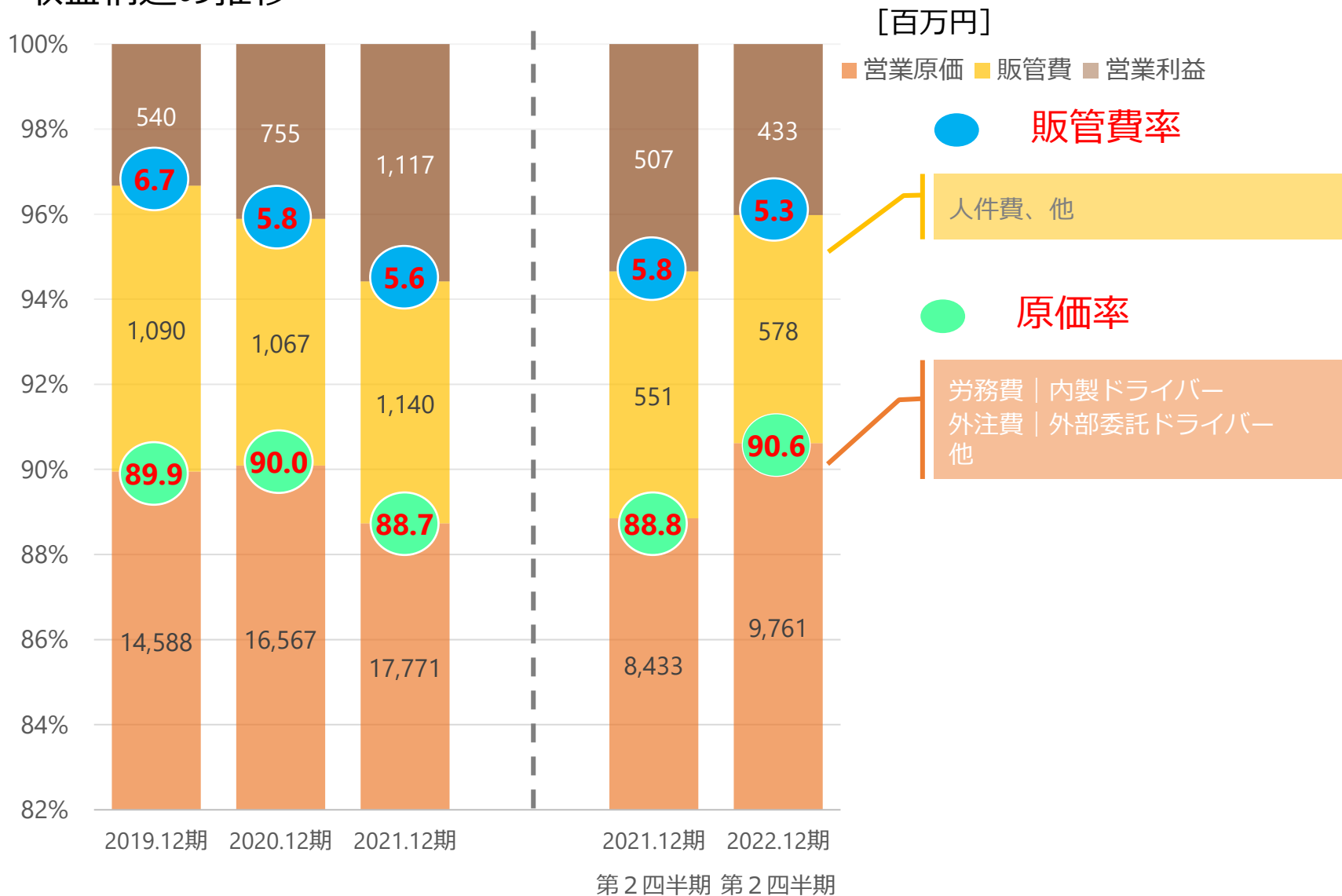
要因	詳細	
新規拠点開設が集中したことによる一時コストの増加	<ul style="list-style-type: none">マテハン類の一括購入（開設の早期化により4Q計画を2Qに前倒し）立ち上げ～安定稼働までの一時的なコスト増が集中	内部 一時的

■ 社会情勢による影響

要因	詳細	
資源調達コストの上昇	<ul style="list-style-type: none">配送業務にかかる燃料費の上昇倉庫運営にかかる水道光熱費の上昇	外部 継続

2022年12月期第2四半期 損益状況 | 収益構造

収益構造の推移



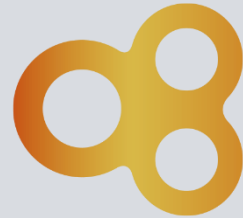
2022年12月期第2四半期 損益状況 | 経常利益増減要因分析

[百万円]	2021年12月期 第2四半期 実績		2022年12月期 第2四半期 実績		前期比	
	金額	営業収益比	金額	営業収益比	増減額	増減率
経常利益	541	5.7%	432	4.0%	△ 109	△ 20.2%
親会社に帰属する 四半期純利益	359	3.7%	292	2.7%	△ 66	△ 18.5%



2022年12月期第2四半期 財務状況（前期末比）

[百万円]	2021年12月期末		2022年12月期 第2四半期末		前期末比		主な増減要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
流動資産	6,617	46.9%	6,191	44.6%	△425	△6.4%	・ 現金及び預金 △347
固定資産	7,471	53.0%	7,678	55.3%	+207	△2.7%	・ 機械装置及び運搬具 +103 ・ 建設仮勘定 +216 ・ 建物及び構築物 △101 ・ リース資産 △61
資産合計	14,088	100.0%	13,870	100.0%	△217	△1.5%	
流動負債	5,111	36.2%	5,346	38.5%	+234	+4.6%	・ 短期借入金 +800 ・ 営業未払金 △280 ・ 1年内返済予定の長期借入金 △261
固定負債	4,676	33.1%	4,076	29.3%	△600	△12.8%	・ 長期借入金 △551 ・ リース債務 △38
負債合計	9,787	69.4%	9,422	67.9%	△365	△3.7%	
純資産合計	4,300	30.5%	4,448	32.0%	+147	△3.4%	・ 利益剰余金 +159
負債・純資産合計	14,088	100.0%	13,870	100.0%	△217	△1.5%	
自己資本比率	29.4%		31.0%		+1.5pt.		



REAL LOGISTICS
Being Group

IV

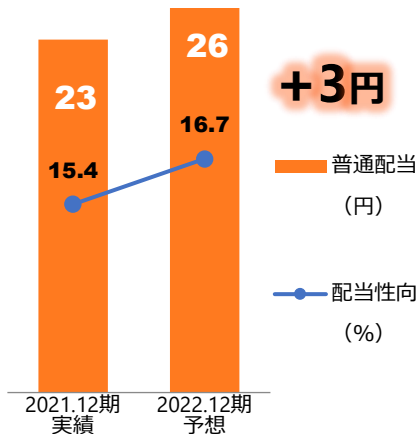
2022年12月期

連結業績予想

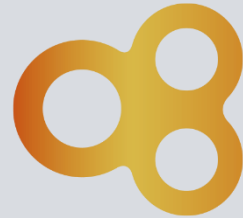
2022年12月期連結業績・配当予想

■ 期初予想から変更なし

[百万円]	2021年12月期 実績		2022年12月期 予想		前期比		2022年12月期 通期予想比 (第2四半期)		(参考) 2021年12月期 通期実績比 (第2四半期)	
	金額	営業収益比	金額	営業収益比	増減額	増減率	進捗率	実績額	進捗率	実績額
営業収益	20,029		22,000		+1,970	+9.8%	48.9%	10,774	48.6%	9,492
営業利益	1,117	5.5%	1,300	5.9%	+182	+16.3%	33.3%	433	63.4%	507
経常利益	1,207	6.0%	1,400	6.3%	+192	+15.9%	30.8%	432	66.0%	541
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	851	4.2%	900	4.0%	+48	+5.6%	32.5%	292	71.9%	359
1株当たり 当期純利益 [円]	149. ³¹		155.⁵⁷							



配当基本方針	<ul style="list-style-type: none"> 株主還元を経営上の重要な課題と認識 業績や事業拡大に向けた資金需要に対応した内部留保の確保を総合的に勘案 <p>配当性向やDOEを考慮しながら、長期的に安定した配当を継続</p>
内部留保資金	<p>借入金返済等の財務体質の強化・戦略的な成長投資</p> <p>企業価値向上に努める</p>



REAL LOGISTICS

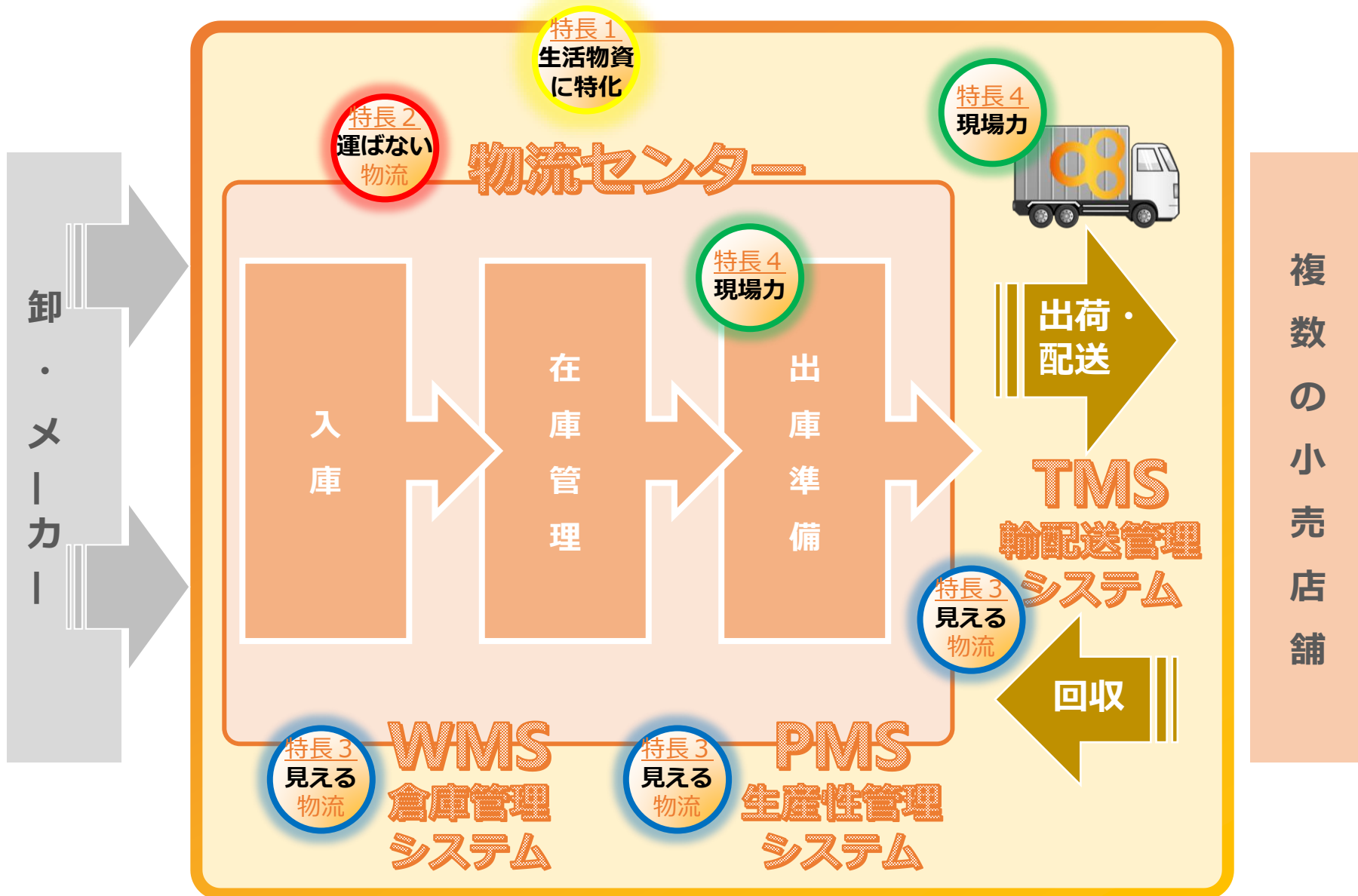
Being Group

V

Appendix

- **4つの特長** (P 27 ~ 34)

ビーイング・グループ 4つの特長 ii



特長 1 生活物資に特化

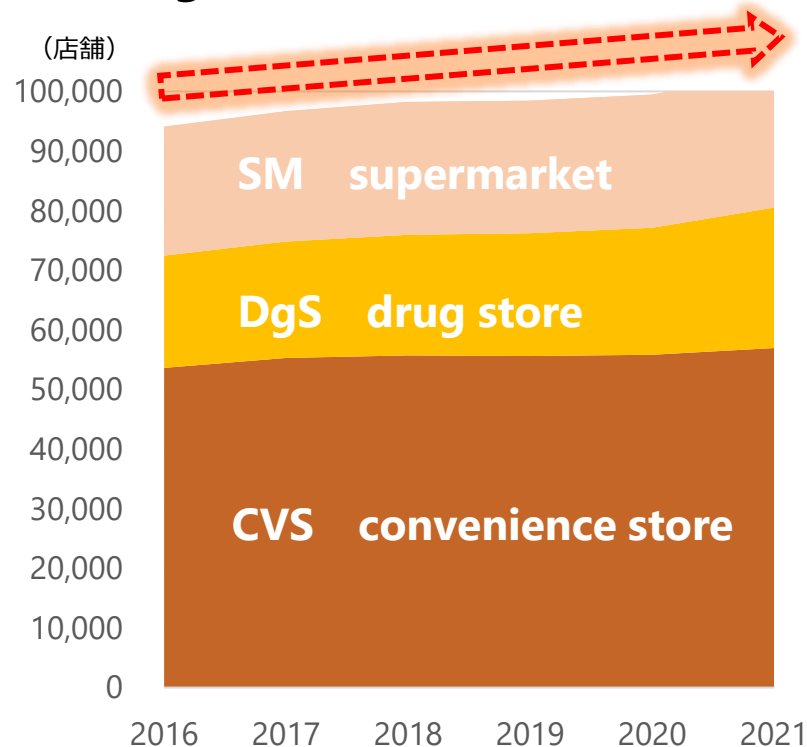
生活物資は需要と供給が安定



配送先の拡大に伴い
物流業務受託が拡大



CVS・DgS・SM全国店舗数の推移



出所 |
日本フランチャイズチェーン協会『コンビニエンスストア統計調査』
日本チェーンドラッグストア協会『日本のドラッグストア実態調査』
一般社団法人全国スーパーマーケット協会『スーパーマーケット店舗数』
日本チェーンストア協会『チェーンストア販売統計』より作成

“生きる為に欠かせない”生活物資は、安定した収益基盤に寄与
DgSは店舗数を大きく伸長、小売業は競争激化、コスト削減のニーズは拡大

従来の物流システム

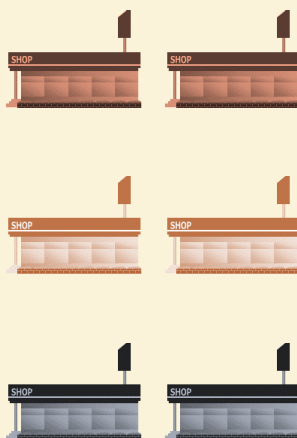
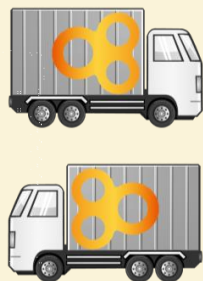


運ばない・触れない物流システム

倉庫を **1つ** に集約

配送

複数の小売店舗



車両台数
縮減

人件費
削減

燃料費
削減

在庫
圧縮

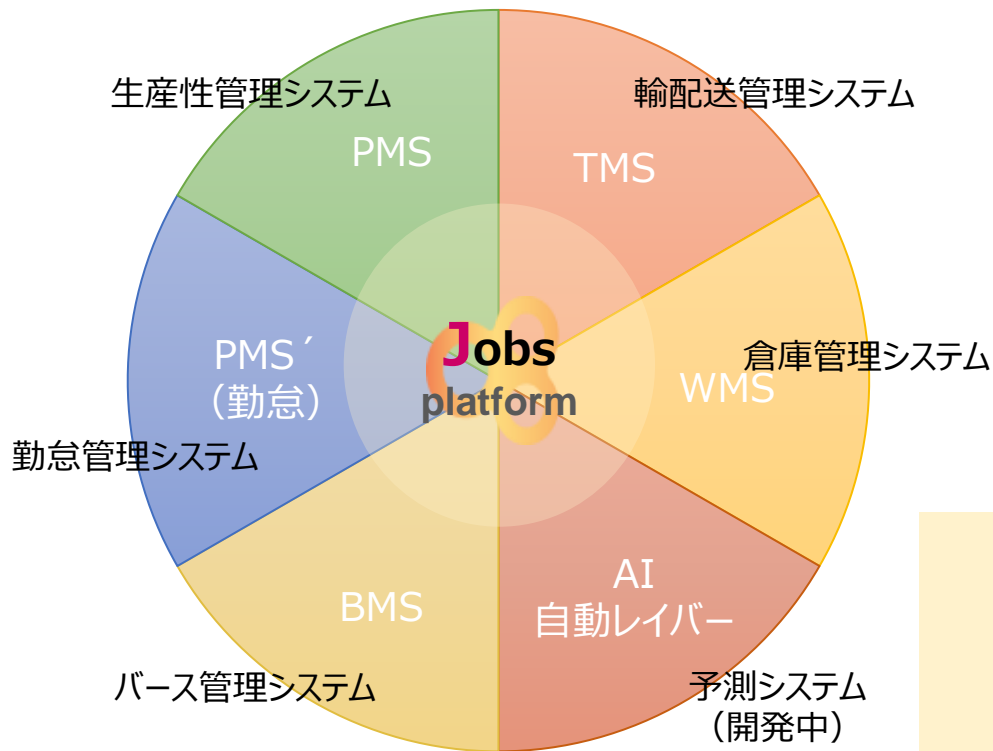
顧客のメリットは多数

環境
保護

商品劣化
防止

コアコンピタンス
追求

Jobs (6つのシステム)



Jobsは当社のシステムだけでなく、顧客システムとの連携が可能となる前提で開発しております。

物流工程の合理化



Jobsで実現！

物理的サービスから

機能的サービスへ

Jobs は当社グループが創業以来培ってきた **ノウハウ・技術** に、**コンサルティング要素** と **IT** を掛け合わせて構築した **物流総合システム** です。

特長3 見える物流 | オペレーションシステム

- 「構内・配送・作業員のオペレーション」を効率的に行うシステムを整備

WMS 倉庫管理システム

Warehouse
Management System

顧客からの入荷予定データに
基づく入荷進捗管理可能
必要数の格納・出荷指示に
基づく出荷管理可能

庫内の設置モニターにより
リアルタイムに状況を確認可能

TMS 輸配送管理システム

Transport
Management System

GPSで車輛の
作業位置情報・走行ルートを
リアルタイムに把握可能

急なオーダーや状況変化にも
対応リアルタイムな配車を実施

配送個数や積込、納品までを
検品しながら配送業務を行い
同時にリアルタイムでの配送管理

配送進捗画面は、他のエリアの
センター進捗も確認・閲覧可能

PMS 生産性管理システム

Productivity
Management System

生産性管理、進捗管理、
勤怠管理、収支管理を
まとめて把握可能

作業員毎の出退勤、作業時間、
生産性が確認可能

各カテゴリーの進捗状況を
リアルタイムに確認可能

自社開発のシステムのため、あらゆるデータ連携が容易

リアルタイムのモノの流れを**見える化**

物流センターの
在庫量
が見える

商品の
入庫・出庫
時刻
が見える

配送車輛の
位置
が見える

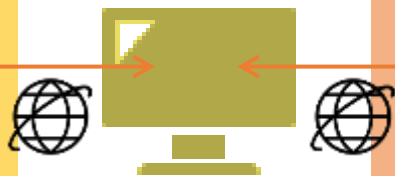
課題点・改善点が見える

信頼あるロジスティクスの
カスタムオーダーメイドが可能

顧客側もインターネット経由で
同時に**同一情報**を確認できる **見せる化**

顧客

当社
グループ



顧客

先を読んだ

事業運営が可能

顧客への助言は、将来の顧客の成長に寄与し、顧客が成長すれば当社も成長

特長4 無いものは自分たちでつくる「現場力」

- オリジナルのデバイスを自社開発または特注、人為的なミスを減らし、効率追求

ヴォコレクト

- 音声認識ピッキングシステム
- 耳で作業指示を聞き、声で応答
- アイズフリー・ハンズフリー



オリコン洗淨機

- オリコンをカゴ車に積んだ状態で洗淨
- 1回でカゴ車2台分 = 80個を約6分で洗淨・脱水乾燥
- 作業員も1名と労働力も最小限



カゴ車用リフトアタッチメント

- リフトピッカーに直接カゴ車を設置
- 積み替え作業を省く



- オリコン+オリコン台車+ピッキングカートを設定
- ピッキング済みオリコンを台車に5段重ね



- 台車を外し積み替えなしでそのまま店舗へ納品

ピッキング用台車

- カゴ車を最大8台搬送できる
- 人の4倍の搬送能力



お化けリフト

構内業務の安全性・生産性向上

店舗カルテ

- 事前に配送先となる全ての店舗を視察、「店舗カルテ」を制作

----記載事項----

- ☑ ルート、バックヤード位置、荷下ろし手順
- ☑ その配送先一つ一つのルールや要望、注意点
- ☑ 店舗周辺環境における注意点
- ☑ 通学路の状況（弊社では運行ルートから外す）

~~~~~

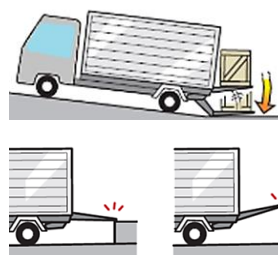
| 店舗カルテ I. (店舗全体について)             |                       |         |
|---------------------------------|-----------------------|---------|
| 【企業名】 ■■■■                      | 【住所】 ●●●市●●町1-5-1 ●1F | 【生非】    |
| 【店番号】 2755:■■■店                 | 【電話番号】 0●●●-4●●●●●9   | 【担当業者】  |
| 【特定沿革時刻】                        | 【営業時間】 10:00~21:00    |         |
| 【コース番号】                         | 【駅No.】                | 【予約No.】 |
| 【周辺環境等における注意点】                  |                       |         |
| ※押し合車を留意(納品通路が狭く、カゴ車が通れないため要確認) |                       |         |
| ※車のみ                            |                       |         |
| 店舗全体について                        |                       |         |
| ●周辺拡大図と写真撮影位置                   | ①                     |         |
|                                 | ②                     |         |
|                                 | ③                     |         |

担当ドライバーでなくても常に高品質の配送を提供

## 「 配送トラック 」

- トラックメーカーへの相談・アドバイス、そのアイデアを実用化
  - ・・・トラックメーカーとの強固な信頼関係構築

### 垂直ゲート (3点スイッチ)



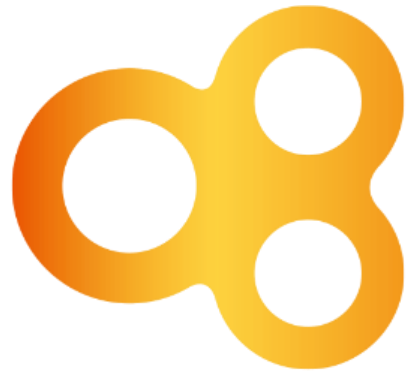
- 傾斜地でも水平状態で昇降
- 高低差のあるバスもスムーズ
- 荷物崩れ防止

### 荷台 3 枚扉の中央の扉を大きく改良



- 中央の扉を 1 枚開けるだけでカゴ車を通すことが可能
- 不必要な 3 枚扉開け閉めを回避
- 温度管理にもつながる

荷役作業スピードアップ・高品質の配送を提供



REAL LOGISTICS

**Being Group**